

保護者の皆様

豊川市立一宮西部小学校長 村上 謙一

令和8年度 1学期学校評価アンケートの結果のお知らせ

秋の訪れが感じられるようになってきました。保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育にご支援、ご協力をたまり心よりお礼申し上げます。

さて、1学期末にご協力いただいた「第1回学校評価アンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。学校と家庭、地域が協力し、より良い一宮西部小学校にしていきたいと思っています。

<グラフの見方についての基本的な考え>

○「1：そう思う」と「2：どちらかといえばそう思う」の回答をプラス評価ととらえています。

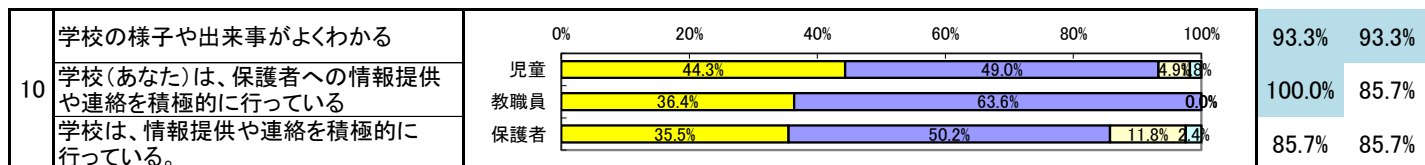
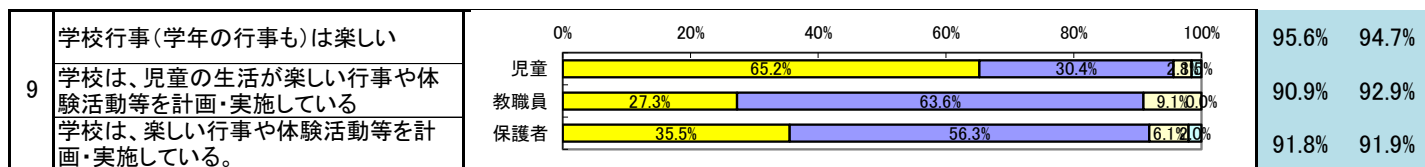
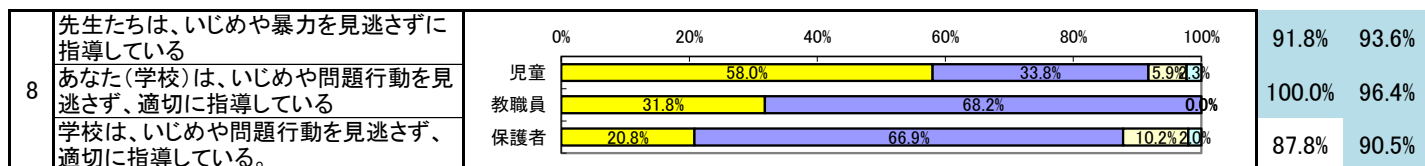
○「1」と「2」の合計割合が90%以上を「ほぼ満足している」、「60%」以下を改善・工夫を要すると考えています。

1と2の合計

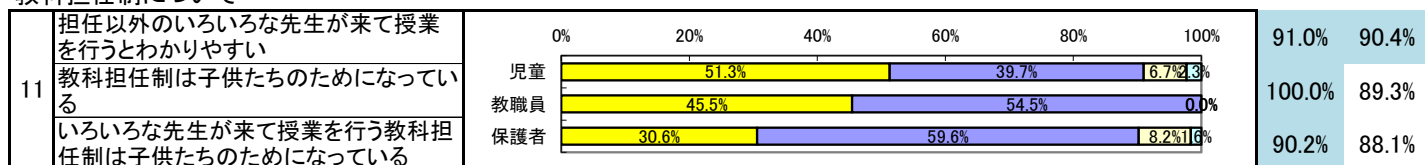
R8 R7

		0% 20% 40% 60% 80% 100% ■1:そう思う ■2:どちらかといえばそう思う ■3:どちらかといえばそう思わない ■4:そう思わない			
1	学校生活が楽しい	児童	69.3%	26.5%	4.2%
	児童は、楽しく学校生活を送っている	教職員	40.9%	59.1%	0.0%
	子供は、楽しく学校生活を送っている	保護者	56.7%	39.2%	4.0%
					95.9% 97.1%
					100.0% 100.0%
					95.9% 94.3%
2	学校のきまりをまもっている	児童	46.6%	47.4%	4.9%
	児童は、学校のきまりをまもって生活している	教職員	0.0%	45.5%	50.0%
	子供は、学校のきまりをまもって生活している	保護者	46.1%	49.8%	4.0%
					94.1% 90.1%
					45.5% 53.6%
					95.9% 94.3%
3	宿題や家庭学習はちゃんとやっている	児童	57.0%	34.0%	6.2%
	児童は、家庭学習の習慣がついている	教職員	13.6%	27.3%	59.1%
	子供は、家庭学習の習慣がついている。	保護者	21.6%	57.1%	16.7%
					91.0% 89.5%
					40.9% 57.1%
					78.8% 71.9%
4	「おはよう」「こんにちは」「さようなら」のあいさつが言える	児童	56.4%	34.8%	8.0%
	児童は、挨拶「おはよう」「こんにちは」「さようなら」が言える	教職員	4.5%	22.7%	59.1%
	子供は、挨拶「おはよう」「こんにちは」「さようなら」が言える	保護者	32.2%	48.6%	16.7%
					91.2% 91.8%
					27.3% 46.4%
					80.8% 83.3%
5	あとかたづけやくつをそろえるなどの「あとしまつ」ができる	児童	49.2%	42.5%	6.2%
	児童は、あとしまつ、(後片付けやはきものをそろえる)ができている	教職員	0.0%	36.4%	54.5%
	子供は、あとしまつ、(後片付けやはきものをそろえる)ができる	保護者	13.5%	45.7%	34.7%
					91.8% 89.8%
					36.4% 46.4%
					59.2% 59.5%
6	授業は楽しくて、わかりやすい	児童	45.6%	45.4%	7.5%
	あなた(学校)は、わかりやすい授業になるように工夫をしている	教職員	27.3%	68.2%	4.0%
	学校は、わかりやすい授業になるように努めている(授業がわかると言っている)	保護者	27.8%	62.4%	8.6%
					91.0% 92.4%
					95.5% 92.9%
					90.2% 90.5%
7	先生たちはこまったときに、話をきいてたすけてくれる	児童	58.2%	35.3%	4.9%
	あなた(学校)は、児童や保護者の相談にのるようにしている	教職員	40.9%	59.1%	0.0%
	学校は、子供のことについて話をしたり相談にのってくれたりする	保護者	29.8%	61.2%	7.3%
					93.6% 93.9%
					100.0% 96.4%
					91.0% 91.9%

裏面へ



教科担任制について



12

多くの先生が授業をしてくれることであてはまると思うこと

教科担任制について、あてはまると思うこと

教科担任制について、あてはまると思うこと

	児童		教職員		保護者	
	R 7	R 8	R 7	R 8	R 7	R 8
子供の良さを多面的に見られる	53.5%	51.3%	75.0%	54.5%	51.0%	53.9%
専門的な授業が受けられる	61.4%	61.9%	89.3%	81.8%	61.0%	51.8%
分かってくれる先生と出会える	50.9%	57.0%	39.3%	27.3%	33.3%	44.5%
教科によって先生が変わると不安	7.6%	14.7%	3.6%	9.1%	6.7%	10.6%
指導法が異なると子供が困る	12.3%	13.7%	0.0%	9.1%	16.2%	17.1%

その他の意見（児童）

分からない事をしっかり教えてもらえる
いろんな先生と授業ができて楽しい
いろんな先生とコミュニケーションがとれてうれしい
授業が分かりにくい

その他の意見（保護者）

クラスによる指導格差がないところがよい
子どものことを理解してもらえているか不安
情報の共有がされるか不安

○「学校生活が楽しい」という項目では、児童、教職員、保護者の3者とも9割を超える高い評価となりました。子供たちは、学校での学習や友達との関わり、行事や体験活動を通して、充実した学校生活を送っていることがうかがえます。学校生活を「楽しい」と感じられることは、子供たちの成長の土台となる大切な要素です。これからも、子供たち一人一人が「学校に行きたい」と思える学校づくりを進めていきたいと思ひます。

○「授業は楽しくて、わかりやすい」という項目では、3者とも高い評価となりました。また、教科担任制についても、多くの児童や保護者が肯定的に受け止めています。子供たちは、さまざまな先生と関わることで、多様な考え方や学び方に触れています。「分かってくれる先生と出会える」という項目の数値が上昇していることから、チーム担任制や教科担任制によって多様な大人の個性と触れ合える体制が、子供たちの安心感や学習意欲につながっていることがうかがえます。

○「教育相談」「いじめや問題行動への対応」については、今回も高い評価となりました。困ったときに相談できる先生がいることは、子供たちが安心して学校生活を送るために欠かせません。複数の教員が関わることで、子供たちはさまざまな先生とのつながりを築くことができます。今後も、一人一人の思いや困り感に寄り添いながら、安心して過ごせる学校づくりを大切にしていきます。

○「あいさつ」「あとしまつ」「家庭学習」の項目では、児童と保護者・教職員との間に認識の違いが見られました。子供たちは、自分なりに努力し、「できている」と感じています。一方で、大人は子供たちのさらなる成長を期待しています。大切なのは、「できていないこと」を指摘することではなく、「今できていること」を認めながら、次の目標と一緒に考えていくことです。学校と家庭が同じ方向を向き、子供たちの成長を支えていきたいと思ひます。

○「教科担任制」については、「分かってくれる先生と出会える」「子供の良さを多面的に見てもらえる」といった点で、そのよさが表れています。一方で、「先生が変わることへの不安」を感じている子供や保護者もいます。チーム担任制は窓口を固定して支援することも可能ですので、個に応じた支援の実現に向けて努力していきます。これからも、多くの大人が子供たちの成長を支えるチームとなり、「だれ一人取り残さない」学校を目指していきたいと思ひます。